

## 特徴

本製品は化学結合タイプのポリスチレン粒子セットです。

- ・ 100,200,300 nm の 3 粒径セット
- ・ ラテックス凝集試薬の初期検討や粒径スクリーニングに最適

## 製品仕様

品名	C100	C200	C300
粒子径	100 nm	200 nm	300 nm
内容量	1 mL		
Lx 濃度	10 %		

## 使用例

化学結合法によるラテックス粒子感作

### 1. 【材料】

- ◆カルボキシル基ラテックス粒子(10wt%品)
- ◆感作バッファー；10 mM HEPES(pH 7.0)
- ◆抗体；精製抗体/PBS (出来る限り 3mg/mL 以上が望ましい)
- ◆縮合剤；WSC (株)同人化学研究所製品コード；346-03632
- ◆ブロッキング溶液；1%BSA
- ◆界面活性剤；10%Tween-20
- ◆試薬保存液；0.1%BSA、20 mM HEPES(pH7.0)、

10%スクロース、0.09%NaN<sub>3</sub> etc…

### 2. 【抗体感作例】

- 1) マイクロチューブに 10%ラテックス原液 50 μL、感作バッファーを 950 μL 加え、0.5wt%に希釈する (5 mg/mL)。
- 2) WSC を感作バッファーで溶解し(1mg/mL)、ラテックス分散液に 300 μL 添加する。
- 3) ローテーターで混和する(20min,室温)。
- 4) 表 1 を参考に抗体を適量添加し、1 時間混和する(室温)。
- 5) 感作後の溶液に 10%Tween-20 を 15 μL 添加して超音波処理を行う (物理吸着した抗体を界面活性剤で遊離させる)。
- 6) 表 1 を参考に遠心して上清を除く。
- 7) ブロッキング溶液を加え、超音波で再分散後、1 時間混和する (室温~37°C) (ブロッキング工程)。
- 8) 遠心して上清を除く。
- 9) 試薬保存液に試薬性能が得られる濃度に分散する。

※抗体感作ラテックスの調製量を変更する場合、最適抗体量、遠心時間を適宜ご調整下さい。

表 1

粒子径	100 nm	200 nm	300 nm
添加抗体量 (0.5wt%1mL)	0.7 mg	0.4 mg	0.3 mg
遠心条件	20,000G (15,000rpm)	20,000G (15,000rpm)	20,000G (15,000rpm)
遠心時間	1 時間以上	約 30 分	約 20 分

※上記の表は粒子の表面積に基づいて算出しており、数値は目安であることをご承知おき下さい。

### 注意事項

- ・ 保管条件  
2～30℃（1週間程度） / 2～8℃（長期保管）、凍結禁止
- ・ ご使用前によく混和して下さい。
- ・ 本製品は研究用試薬ですので、研究用以外の目的には使用しないで下さい。
- ・ 製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
- ・ 製品の使用にあたっては、用途に対する法規制及び用途への適合性、安全性等をご確認下さい。
- ・ 本製品は防腐剤としてアジ化ナトリウムを含みますので、廃棄の際は大量の水とともに洗い流して下さい。

### <製造元>

藤倉化成株式会社 メディカル材料部  
〒340-0203 埼玉県久喜市桜田 5-13-1  
TEL: 0480-57-1155 FAX: 0480-57-1156  
HP: <https://www.fkkasei.co.jp/>